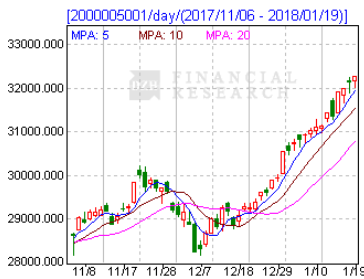


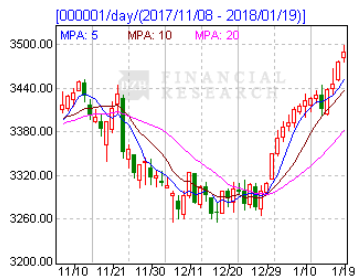


## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	26,071.72	53.91	0.21	1.94	5.47	24,719.22
NASDAQ	7,336.38	40.33	0.55	1.73	6.27	6,903.39
日経225	23,808.06	44.69	0.19	0.65	4.58	22,764.94
上海総合	3,487.86	13.11	0.38	1.72	5.46	3,307.17
滬深300 (CSI300)	4,285.40	13.98	0.33	1.43	6.31	4,030.86
ハンセン	32,254.89	132.95	0.41	2.68	7.81	29,919.15
H株	13,179.52	84.60	0.65	5.70	12.56	11,709.30

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.7%高と6週続伸、上海総合指数は1.7%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.7%高と大幅に6週続伸。ハンセン指数の連騰記録は過去最長の14日で途切れたものの、世界的な株高を背景に上昇基調が続いた。ハンセン指数は16日に約10年3カ月ぶりに終値ベースで過去最高値を更新。17日には取引時間中の過去最高値も更新し、19日まで連日で高値更新が続いた。本土市場では上海総合指数が週間で1.7%高と5週続伸。週初に12日ぶり反落したものの、その後19日まで4日続伸し、15年12月末以来となる節目の3500ポイントまであと一步の水準に迫った。

### 今週の展望:香港市場は上昇一服か、ハンセン指数が連日の高値更新で過熱感

香港市場は上昇一服か。世界的な株高や好調な企業業績を背景にハンセン指数が連日で過去最高値を更新しており、すでに短期的過熱感からいつ調整してもおかしくない状況。米ドル安を受けて新興国市場への資金流入も続いているが、仮にこの流れが止まった場合には足元で上昇が大きかった銘柄を中心に売られる展開もあり得る。本土市場もそろそろ短期調整を覚悟の方がよさそうだ。旧正月を前にした資金ひっ迫懸念が後退し、景気減速懸念も和らいでいるが、上海総合指数が3500ポイントを超える水準では要警戒か。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サズ・ファイ(01928)	46.00	10.31
2 中国建設銀行(00939)	8.48	9.00
3 中国工商銀行(01398)	7.19	8.28
4 中国蒙牛乳業(02319)	26.35	7.99
5 中国平安保険(02318)	93.30	7.99
6 中国銀行(03988)	4.43	7.79
7 香港証券取引所(00388)	294.80	7.28
8 華潤置地(01109)	28.30	6.39
9 銀河娛樂(00027)	63.90	6.23
10 ファイ・コム(00762)	11.40	6.15

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 瑞声科技(02018)	135.90	-7.99
2 吉利汽車(00175)	25.00	-7.41
3 碧桂園(02007)	17.04	-6.89
4 ワーフ(00004)	30.50	-5.72
5 恒安国際集団(01044)	77.25	-5.04
6 CNOOC(00883)	12.14	-2.88
7 ヘトロファイ(00857)	5.80	-2.19
8 香港鐵路(00066)	45.05	-1.42
9 AIAグループ(01299)	66.65	-0.89
10 中国神華能源(01088)	22.50	-0.88

### ▼今週の期待材料

- ◆海外からの資金流入が継続、香港市場の先週の売買代金は1日平均1740億HKドルの大商い
- ◆中国人民銀行が先週の公開市場操作で差し引き5900億元の資金を市場に供給、資金供給は2週連続
- ◆中国社会科学院が中国の経済成長見通しを発表、18年の成長率は6.7%前後と予想

### ▼今週の懸念材料

- ◆香港市場でハンセン指数が連日で過去最高値を更新、32000ポイント乗せて短期的過熱感高まる
- ◆本土市場も上海総合指数が5週続伸で過熱感強まる、上海総合指数が3500ポイントを上回る水準では要警戒
- ◆米上院のつなぎ予算案動議否決で20日から米政府機関が一部閉鎖、長期化すれば大きな影響も

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 裕元工業 (00551) : 宝勝国際の株式非公開化計画に伴い特別配当の実施を計画
- ☆ テンセント (00700) : 米グーグルと長期にわたる特許共有で合意、訴訟リスク低減
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 12月の4G加入純増数が前月比3倍に拡大
- ☆ エン州煤業 (01171) : 豪子会社の10-12月期の石炭生産量が92%増加
- ☆ 中国再保険 (01508) : 損保子会社の17年の保険料収入が16%増加、12月は9%増
- ☆ 大唐新能源 (01798) : 17年12月決算は電力販売量増加で大幅増益の見通し
- ☆ 中国人民財産保険 (02328) : 17年の保険料収入が13%増加、12月は14%増
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 17年の保険料収入が75%増加、12月は81%増
- ★ シノペック (00386) : 17年の原油生産量が3%減少、海外生産が11%減
- ★ チャイナ・コム (00762) : 12月の4G加入純増数が前月比12%減少

## ▼今週の主なイベント

- 1月25日(木)
- 【香港】貿易統計(12月)
- 1月26日(金)
- 【中国】工業企業利益(12月)
- 【米国】GDP速報値(10-12月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>  
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。